

令和 4 年度 大学活性化経費 事業成果報告書

事業区分 (2) (3) (5)

申請組織 生活科学部

申請組織長 役職名 生活科学部長 氏名 本山 昇

統括責任者 役職名 生活科学部 教授 氏名 村上 心

課題名 フェアトレード・タウン宣言都市名古屋における相大参加の一連の取組み

	役 割	氏 名	所属・役職名	役割分担
事業組織	統括責任	村上 心	生活科学部 教授	事業の統括と実施
	協力	山口 晶	TEAM クラブトン 代表	事業協力
	協力	山下 徳子	造形作家	事業協力

1. 事業開始の背景・経緯や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

「フェアトレード」は、2004 年に名古屋で開催された ESD（持続可能な開発のための教育）ユネスコ世界会議においても、講義の環境問題に取り組む世界各国でも再重要視される項目の一つであることが確認され、実際に、世界の先進諸国において、官産学共同の取り組みが進んでいる。名古屋市は、「フェアトレード・タウン」を目指し、フェアトレード名古屋ネットワーク（FTNN）を中心として民間の啓蒙活動が行われてきた。その活動が結実し、2015 年には、**名古屋市がフェアトレードタウン宣言**を行い、公式に名古屋へフェアトレード普及を目指すことが、喫緊の課題となっている。近年は、年間を通じての村上研究室による（タイの生地を学生とともに現地で調達した）**フェアトレード商品／生産システムの開発**などの活動継続を行い、名古屋という**地域の再生の核**となる大学づくり、フェアトレード理念の普及を通じた**情報／文化発信、グローバルな人材づくり、**相山女学園大学の**広報**、などに貢献している。今年度は、フェアトレード理念の普及を通じた情報／文化発信、相山女学園大学の広報に貢献するイベント出展を実施する。

2. 事業方法（特色・独創性）等 (300 字程度で記述)

フェアトレード理念の普及を通じた情報／文化発信として、以下の方法を実施する。

- 「二ツ坂カーニバル 2022」（半田市）、「もぐばくマーケット」（名古屋市港区）、「キッチンアバディーン」（日進市）のイベントブース出展
パープルリボン活動と連携し、フェアトレード製品を使ったワークショップを開催する。
- 「こうべ SDGs 肥料」PR イベントへブース制作
持続可能な建築材料として注目されている竹材を、一般市民に広く知ってもらい、触れてもらうことを目的として竹櫓ブースを制作する。神戸市に近い丹波篠山の竹を使うことで、地域材のフェア取引に貢献する。
相山女学園大学の広報として以下を実施する。
- 大府パーキングエリア（上り）のガラス面クレヨンアートの実施
キットパスという特殊なクレヨンを使用し、PA のガラス 7 面にクレヨンアートを施す。

3. 事業の成果 (600 字～800 字程度で記述)

本事業は下記の通り実施した。

1-1. 「ニツ坂カーニバル 2022」(半田市半田図書館前通り商店街、開催：2022 年 11 月 19 日 20 日)

1-2. 「もぐばくマーケット」(名古屋市港区戸田川緑地、開催：2022 年 11 月 26 日)

1-3. 「キッチンアバディーン店舗内ブース」(日進市プライムツリー赤池、開催：2022 年 12 月)

パープルリボン活動の普及・啓蒙活動と合わせて、フェアトレード理念の普及として、フェアトレード商品を使用したワークショップ(フェアトレード製品を用いたアクセサリづくり)の開催、フェアトレード品を使用・加工して制作したヘアゴムを来場者に配布した。ワークショップ中には、フェアトレードやパープルリボン活動の概要についてを口頭で説明し、来場者とコミュニケーションを取りながらフェアトレード等の理解を広める活動を実施した。

2. 「こうべ SDGs 肥料」PR イベント(主催：神戸市、開催：2022 年 11 月 26 日)

丹波篠山産の竹を使用し、肥料を配布するためのイベントブースを制作した。イベントブースは、西神中央駅構内に設置し、駅利用者に肥料と花の苗を配布した。300 セット用意された肥料サンプルとともに、久元喜造市長らが、駅利用者に対してフェアトレードや持続可能性等の意義を呼びかけた。

3. 「大府パーキングエリア(上り)のガラス面クレヨンアート」

造形作家の山下徳子さん指導のもと、コンセプトである「知多の魅力が溢れるアート」を表現するために、ガラス 7 面をキャンバスにアートを制作した。知多の特産物であるレタス、きゅうり、ブドウ、オレンジ、キウイを中心に、知多半島の象徴でもある海や梅の花をあしらったガラスアートである。紹介パネルには椙山女学園のロゴと、「愛知多の種」のロゴを強調し、アート作品のモチーフや制作プロセスを表現したグラフィックを掲載し、PR 活動を行った。

4. キーワード(本事業のキーワードを 1 つ以上 8 つ以内で記載)

①フェアトレード	②エシカル	③パープルリボン	④竹
⑤アート	⑥	⑦	⑧

5. 事業の達成状況及び今後の課題(事業の達成状況を踏まえて、課題、反省点、及び今後の取組みを具体的に記載すること。)

今年度は新型コロナの影響により、国内でのイベント実施に留まったが、次年度以降は、国際的な開発や対面での啓蒙活動をより多く行いたい。イベントやワークショップ、講演の機会や、FT 商品の普及により、さらに多くの人々に身近に感じてもらう必要がある。以降も、是非継続したい。

また、学内の他学部を始めとする多くの方々の参加を募り、外部へ発信し続けていくことで、学生の意欲向上／地域連携／企業連携／椙山女学園の活性化に繋がることを期待する。また、学生の国際的視点、環境的視点の啓発に繋がるものである。

また、マスメディア、本学広報課などを通じての広報実績を積み上げることができている。

NO. 建 C01 パープルリボンのイベント企画

村上研究室（建築分野） A19AB045 河内唯

1. 背景と目的

内閣府男女共同参画局の調べ（※1）では女性の約4人に1人は配偶者からの暴力を受けたことがあり、約10人に1人は何度も被害を受けたことがあることがわかっている。

また、本企画ではイベントを通してより多くの人に女性に対する暴力の根絶を訴えるアウェアネスリボンである「パープルリボン」を発信し暴力に対する理解を深め、デートDVの予防、暴力の被害に遭った時の相談先の提示するイベントを企画する。本企画により、女性に対する暴力撤廃の啓発活動を目的とする。

2. 企画内容

2-1. 本企画の特徴

全3回のイベントを行い、パネル展示、アンケート調査、ワークショップを行う。
イベント企画とは別にデートDV予防ツールカードを作成した。

2-2. ターゲット

- ・SNS（インスタグラム）を利用している人。
- ・「二ツ坂カーニバル2022」では子供連れの母親や女学生をターゲットとする。
- ・「もぐばくマーケット」では小さな子供を持つ母親をターゲットとする。
- ・「キッチンアパディーン」では幅広い年代の女性をターゲットとする。

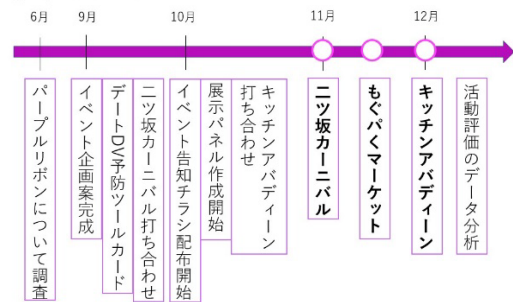
2-3. 方法

オンライン（インスタグラム）、シティリビングに告知を掲載、フェアトレードショップ meets、キッチンアパディーンに告知チラシを設置しイベントの参加者を募集し「二ツ坂カーニバル2022」（図表10）「もぐばくマーケット」（図表11）「キッチンアパディーン」（図表12）の全3回の企画を実施した。

3. 企画の実施

3-1. 企画1：パネル展示

パープルリボン、「女性に対する暴力をなくす運動」期間の説明用パネル（図表4）。フェアトレードと女性支援の説明パネル（図表5）。デートDV説明パネル（図表6）。パープルリボン、フェアトレード、デートDVの関係説明パネル（図表7）。暴力の被害に遭った時の相談先提示パネル（図表8）。



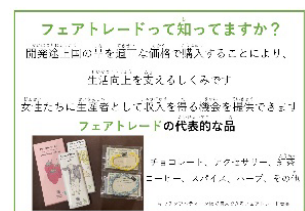
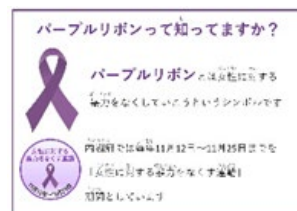
（図表1：スケジュール）



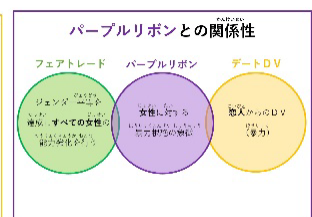
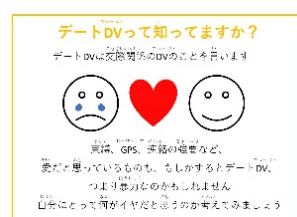
（図表2：パネル展示、アンケート中の様子）



（図表3：ワークショップの様子）



（図表4：パープルリボン説明パネル）（図表5：フェアトレードの説明パネル）



（図表6：デートDV説明パネル）（図表7：関係説明パネル）

3-2. 企画2：アンケート調査

イベントの効果測定のため来場者にアンケート調査を行った。

3-3. 企画3：ワークショップ

フェアトレード商品を使用し参加者にフェアトレードを身近に感じてもらい、フェアトレードが女性の支援に繋がっていることを理解してもらうためワークショップを開催した（図表13）。

3-4. 企画4：リボン配布

フェアトレード商品を使用しブルーベリーで紫に染色したオーガニックコットンをヘアゴムに加工、配布し来場者数を測った。

3-5. 企画4：デートDV 予防ツールカード

ツールカード、ロゴのデザインを作成しツールカード使用前後で暴力に対する意識変化を調査した（図表9）。

4. アンケート調査

来場者にイベントの効果測定のためアンケート調査を行った（図表14）。

・パープルリボンを以前から知っていたか。・展示からパープルリボンを理解できたか。・展示からフェアトレードを理解できたか。・暴力の被害に遭った時の相談先を知っていたか。・展示から暴力の被害に遭った時の相談先がわかったか。以上5点と年齢、性別を調査し988人に解答を頂いた（図表15）。

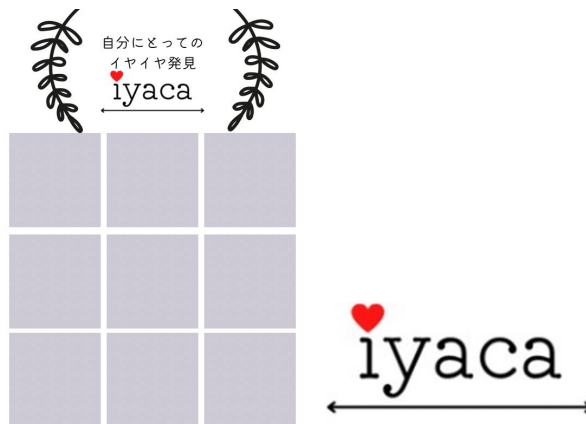
5. まとめ

イベントでのアンケート結果から、来場者は30代、40代が約半分を占め、子育て世代が多く来場し、想定していたターゲットに一致した。また、暴力の被害に遭った時の相談先を知っていた人は2割以下であり、イベントを通して9割の人に相談先を認識した。パープルリボンを以前から知っていた人は1割以下であり（図表）パープルリボンの認知度の現状は低いことがわかった。パネル展示を見てパープルリボン、フェアトレードを理解できたと6割の人が回答した。約3割の人がまあまあ理解できたと回答し女性に対する暴力撤廃、パープルリボン活動について理解を深めてもらい、被害に遭った時の相談先の周知を目指した。謝辞

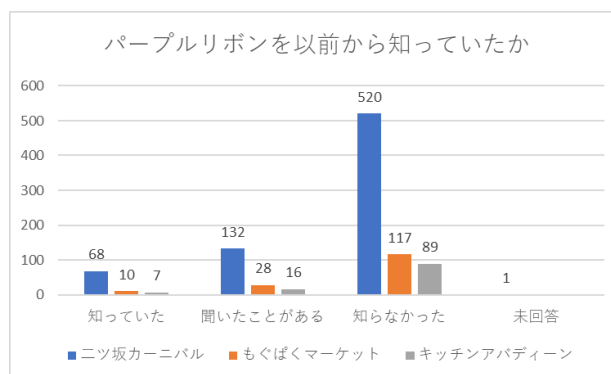
本研究を行うにあたり、御協力いただきましたDO LIVING ISSEIDOの皆様、一般社団法人はっぴーひろばの皆様、株式会社ワンズアウン キッチンアバディーン プライムツリー赤池店の皆様、フェアトレードショップmeetsの皆様、株式会社前田源商店の皆様に対しましても、心より感謝申し上げます。



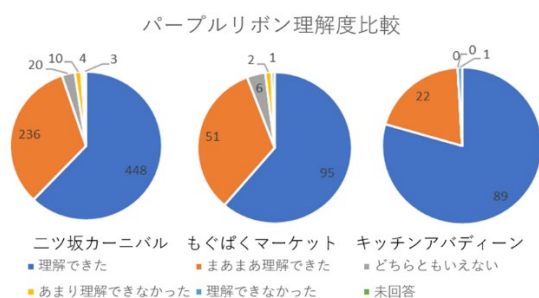
（図表8：暴力の被害に遭った時の相談先提示パネル）



（図表9：ツールカード、ロゴデザイン）



（図表10：パープルリボンを以前から知っていたか）



（図表11：パネル理解度）

参考文献

※1 女性に対する暴力の現状と課題

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/pdf/kadai.pdf

「こうべ SDGs 肥料」 PR イベントのブースデザイン実施報告

2022 年 12 月

■開催日 2022 年 11 月 26 日（土）

■開催場所 西神中央駅前

■主催 神戸市

■イベント実施内容

下水から回収したリンの肥料活用の PR として、駅構内にイベントブースを設置し、駅利用者に肥料と花苗を配布した。300 セット用意された肥料サンプルの配布とともに、久元喜造市長らが駅利用者にフェアトレードや持続可能性等の意義を呼びかけた。

● 村上研究室の実施内容

■イベントブース基礎の施行実験

低コスト住宅の開発に向けた基礎的実験として、コンクリートブロックを建築基礎として活用する施工実験を実施し、強度や施工性の確認を行った。

本実験では、基礎以外の躯体は地域の特産である丹波篠山の竹を用いた。

2022 年 11 月 15 日（火）に組立試験を行い、施工手順、施工性、課題点を把握した。強度確認は、11 月 26 日（土）の PR イベント時に行った。



写真_組立試験の様子

■竹櫓ブースの制作

フェアトレードの理念に則し、持続可能な建築材料である竹材を用いたイベントブースを制作した。

2022 年 11 月 26 日（土）の「こうべ SDGs 肥料」PR イベントのブースとして制作し、肥料の PR と合わせて、駅利用者に竹材を用いたブースに触れてもらうことで、持続可能性やフェアトレードを啓蒙する活動を行った。



写真_組立試験の様子

写真_イベント当日の様子

写真_イベント当日の様子

「大府 PA（上り）」ガラス面クレヨンアート実施報告

2022 年 1 月

藤田紗帆 矢野仁美 吉田葉里

■施工日 2022 年 12 月 12 日（月）

12 月 14 日（水）

■会場 〒474-0052 愛知県大府市長草町石原 16-5 大府 PA（上り）

公式サイト：<https://aichita.com/news/1449/>

■指導者 山下徳子さん（造形作家）

■クレヨンアートの実施内容

コンセプトである「知多の魅力が溢れるアート」を基に、大府 PA 上りの東面ガラス 7 面に消すことの出来るキットパスという特殊なクレヨンを使用して、ガラス面に直接描く

●デザイン案とパネルデザイン



アートデザイン案

知多の特産物であるレタス・きゅうり・ブドウ・オレンジ・キウイを散らばせ、カウンター席から花の中に顔を覗かせるデザイン。端に大きく描かれた梅の花は知多半島の象徴でもある海と、「華の種」というテーマを繋げる役目を担っている

※これに加えて、学生の似顔絵や生き物を描くなど、デザイン案と完成形のデザインに変更がある



パネルデザイン案

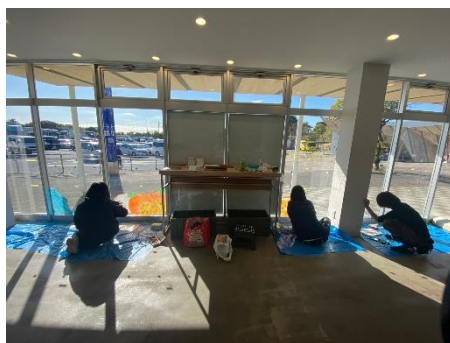
椋山女学園大学と愛知多の種のロゴを大きくのせ、周りにはクレヨンでイラストを書いているデザイン。学生メンバーの似顔絵や、説明文などを載せ P R 活動を行う。

●施工の流れと様子

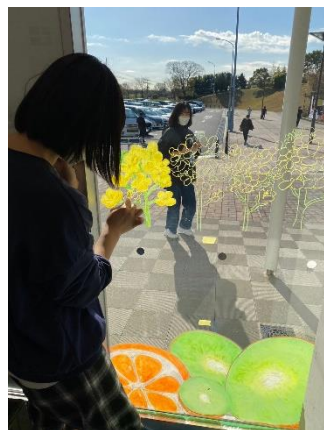
- ①当初、何も描かれていないガラス 5 面に描く予定だったが、一月末に外される看板 2 面にも追加で描くことになった
- ②初めは、一人一面ずつにデザイン案の基、作業していった
- ③多色のクレヨンで色を重ね、擦ってぼかすことで深みのあるアートに
- ④蝶々や蜂、自分達の似顔絵も追加し、POP なデザインに仕上げた
- ⑤・⑥ 拡大像（完成） ⑦看板二面（完成） ⑧全体像（完成）



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧